

第13回岡山県アルゴリズム教育研究大会プログラム

表彰式・講演内容と Java 研修

実施日時 平成 23 年 8 月 28 日(日) 09:30～15:30

実施場所 環太平洋大学岡山第一キャンパス

これまで本研究大会は、岡山県下だけでなく中四国の高等学校において情報関連科目を担当教員にアルゴリズムの基礎実習と討論会の形態で研修し、アルゴリズム指導可能教員を育成することを目的に実施してきた。

昨年度より、この研究大会を大きく2分野に分けて実施することで、より効果的な啓発活動ができるのではないかと考え実施している。1分野は、従来通り教員をターゲットにアルゴリズム実習と討論会として行う。2分野については、生徒をターゲットとして実社会でニーズが高い Java 言語のプログラミングコンテストを実施する。(COBOL は今年度から廃止) 具体的には、事前に生徒・学生を対象に募集活動を行い、提出されたプログラムの審査結果の発表と優秀作品の表彰を行った。

大会の目的と効果 これにより、教員だけでなく、生徒・学生に対してもアルゴリズム教育に関する効果的な情報発信を行うことができた。また、タイムリーな教育実践としてだけでなく産業界でもニーズが高い実務的な言語を取り上げていることから、瀬戸内海経済レポート誌(平成24年6月掲載予定)に本大会記事が掲載される予定で、マスメディアを通して教育界に留まらず、広く情報発信することができると考えている。この大会の成果は、参加者の聞き取り調査から、「言語教育は自分には無理だと考えていたが、これなら取り組めるかもしれない」「言語教育は面白い」など、一人一人の生徒・学生にロジカルな思考力を育み、実践的な情報活用能力を身に付けさせる上で不可欠な「アルゴリズムの教育効果を理解し、指導力育成と効果的な指導へのやる気が出てきた」といった効果が明らかになった。

また、会場を近年設置された環太平洋大学で行ったことで、大学自体の教育にも興味を持たれている参加者もいるなど、効果的な啓発ができたで参加者も増加し、岡山県下の商業教員に対してする Java 言語導入に対する大きな動機付けができるものとする。